

令和 年 月 日

大阪大学サイバーメディアセンター長 殿

同 意 書

私は、「高等教育機関における教育へのクラウドコンピューティング技術の国別普及状況の調査」について、目的・方法・予測される問題等について説明者より説明文書を用いて十分な説明を受け、以下の項目を理解しました。

- ☐ 研究の目的、方法そしてそれに伴う危険性とそれに対する対応について
- ☐ 私は自らの自由意志でいつでも実験を中止することができること
- ☐ 私に生じる不利益に対する配慮は、学問的、社会的な利益よりも優先されること
- ☐ 私は、万一不利益を被った場合に大阪大学サイバーメディアセンターに対して申し立てを行うことができること。

そこで自らの自由意志により、「高等教育機関における教育へのクラウドコンピューティング技術の国別普及状況の調査」の被調査者になることを同意します。

住 所 〒

氏 名

「高等教育機関における教育へのクラウドコンピューティング技術の国別普及状況 の調査」 に関するご協力をお願い

研究責任者 大阪大学・サイバーメディアセンター・教授 竹村治雄
説明者 大阪大学・情報工学研究科 David Soto

1. 研究の目的、手順および実験に伴う危険性とそれに対する対応について

(1) 目的

本研究では、日本国とドミニカ共和国（起案者である学生の出身国）の高等教育機関の教育において、クラウドコンピューティング技術の普及状況をアンケート形式で調査します。本調査では、75 項目の質問への段階回答を集計し、両国の教育におけるクラウドコンピューティング技術の普及状況を対比的に分析します。なお、本調査の実施期間は、令和 3 年 2 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日までを予定しています。

(2) 実験手順と危険性に対する対応

本調査に際して、すべてオンラインでのコミュニケーションを行いますので、被調査者の健康への影響はありません。

2. 調査の回答の撤回について

被調査者になることに同意された場合でも、あなたの自由意志でいつでも回答を撤回することができます。

3. 被験者の不利益や個人情報に対する配慮について

被調査者になることに同意するかしないかは、あくまでもあなたの自由です。同意されない場合であっても、そのために不利益を受けることはありません。被調査者のお名前などの個人情報および実験データは研究責任者がサイバーメディアセンター情報メディア教育研究部門において厳重に保管し、被調査者のプライバシーの確保に全責任を負うこととします。ご提供いただくすべての調査データは、本研究目的以外に利用することはありません。またこれらのデータは学術的な発表等で公開することがありますが、個人情報をすべて除去し匿名化を行いますので、被調査者が特定されるようなことはありません。以上のように、被調査者に対する不利益への配慮を最優先にいたします。

4. 不利益に対する申し立てについて

被調査者の不利益や個人情報に対する配慮については万全を期しておりますが、万一あなたが本研究によって不利益をこうむったと判断された場合には、大阪大学サイバーメディアセンターに対して申し立てを行うことができます。

令和 年 月 日

大阪大学サイバーメディアセンター長 殿

同 意 撤 回 書

私は、「高等教育機関における教育へのクラウドコンピューティング技術の国別普及状況の調査」について、説明文書の記載事項について説明を受け同意しましたが、同意の是非について再度検討した結果、同意を撤回いたします。

住 所 〒

氏 名